

「第 1 回ジュニアジオガイド講座」事業報告書

企画指導専門職 山下 正晃

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と自ら学ぶ意欲の育成に努める。また、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力の育成に努める。
- (2) 期 日 平成 29 年 7 月 15 日(土)～17 日(月) 2泊3日
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家、阿蘇火山博物館、阿蘇ジオパーク
- (4) 参加者 熊本県・大分県の小学 4～6 年生 32 名
(4 年生 9 名、5 年生 13 名、6 年生 10 名)
- (5) 講 師 池辺 伸一郎 氏 (阿蘇火山博物館 久木文化財団 館長)
花岡 利和 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
花岡 玲子 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
山本 セツ 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
大西 佳代 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
川原美代子 氏 (阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド)
- (6) 担当職員 山下 正晃 (企画指導専門職) 安部 信吾 (企画指導専門職)
宮本 賀通 (事業推進係員) 志賀 泰成 (事業支援室主任)
田上 正文 (事務補佐員)
- (7) 内容 【1 日目】阿蘇火山博物館見学、草千里ヶ浜探検、カルデラ実験
【2 日目】大観峰探検、わいた温泉郷探検、鍋ヶ滝探検、よろによる噴火実験
【3 日目】日本リモナイト、まとめ・発表会

2. 成果と課題

(1) 成果

- ① プログラムの計画段階から、阿蘇火山博物館長、ジオガイドの方など、専門家の方からアドバイスを頂き、充実した活動ができた。
- ② ジオガイドの方が各班に帯同していただくことにより、内容の深まりが見られるとともに参加者同士の交流も深まった。
- ③ 参加者の感想には、「阿蘇だけでなく、日本各地にある火山のことを博物館で学習することができてよかった。」「大観峰や草千里ヶ浜などを実際に歩きながら探検できて楽しかった。いろんなことが調査できてよく分かった。」「楽しいことがたくさんあったし、また参加したいと思う。」などが見られた。実感を伴った活動が、参加者の興味関心を引きつけるとともに、次回の探検への意欲を高めていた。

(2) 課題

- ① 様々なジオパークを訪れ、現地を調査する活動において、周囲の様子を確認しなかったり、ガイドの注意等が聞けなかったりする子が見られた。必要に応じて、個別に指示を出したり、見守ったりしながら、安全に充実した活動が行うことができるような体制を作っていきたい。
- ② 参加者同士の会話や交流も深まったが、その分、「嫌なことを言われた」などの些細なトラブルもあった。参加者が小学生でもあるので、生活面でも細かく気を配ることが重要だと感じた。
- ③ まとめの活動では、グループごとに発表を行うことができたが、ジュニアジオガイドとして身につけた知識や情報を他者に意欲的に伝えることができるよう、発表の場や機会の工夫を次回以降行いたい。



池辺館長より説明を聞く参加者



ガイドの説明を聞く参加者（草千里ヶ浜）



カルデラ実験を行う参加者



地獄蒸しの料理を食べる参加者



わいた温泉の蒸気の温度を調査する参加者



にょろにょろ噴火実験を行う参加者



班別の発表会を行う参加者



修了証をもらう参加者